

# 江尻宿

東海道二峠六宿



梅蔭禅寺 清水次郎長銅像



江尻宿を映像で紹介しています！

東海道 江尻宿

<https://youtu.be/HL0DEPMXsag>

東海道 清水湊

<https://youtu.be/Qn8WSfWx32c>

東海道  
興津宿西見付～江尻宿

<https://youtu.be/bWjBFzxt1YU>



二峠六宿道旅推進実行委員会

平成 30 年度文化芸術振興補助金





湊には家並が連なり、船が停泊し、沖にも多くの船が描かれています

東海道18番目の宿場が、静岡市清水区にある江尻宿です。江尻宿は、巴川の河口にある清水湊と接して築かれました。巴川の河口付近は清水湊として7世紀頃から物資の輸送が行われ、江戸時代には、江戸と大阪の中継港となり、山梨からも物資が運ばれてきていました。湊の繁栄は広重の浮世絵「東海道五十三次江尻宿」にも描かれています。



壮士の墓

**清水湊次郎長生家**

外国貿易の重要性を唱え、川の湊を海に移すことを廻船問屋に説得したのは清水の次郎長です。その生家は清水湊の文化資源として登録有形文化財です



江尻の見どころ

**清水港**

巴川にあった湊を海に面した波止場を建設したのは1875年、明治8年のことです。それから24年後の1899年、国際港として認定されています



**三保**

清水港の対岸にあるのは富士山世界文化遺産の構成資産である三保。かつての御穂神社参拝は、海から渡しの船を使っていました



**清水芸者**

「巴川で遊べるようになったら一人前」と清水の男が競い合った粋な文化を今に伝えるのは清水芸者です



**テルファー**

1928年に建造された荷揚げクレーン。日本に3台しかない機械で、現存するのは清水港だけとなっています

駿河湾に面して、物流拠点、交通の要衝になっていた江尻の価値を見いだしたのは武田信玄です。1570年巴川を堀に見立て、江尻城と袋城を建造し、天下統一に乗り出しました。1582年、家康公により武田氏が滅亡、清水における武田氏の支配はわずか14年でした。城跡は江尻小学校となっています。



**東明禅院の武田菱**

武田信玄がつくった江尻城の門を移築した禅寺です



**巴川にかかる稚児橋**

宿場内に流れる巴川の橋を一番に渡ったのは、稚児に姿を変えた河童であったといわれています



**江浄寺 恋塚**

願いをかける者があればその想いを遂げさせてやろうと、浄土で縁結びの霊魂となることを誓って、無念の切腹をした若い侍の悲恋物語



**江浄寺 五輪塔**

武田家との内通を信長公に疑われ、21歳の若さで切腹させられた家康公の長男信康の遺髪が埋葬されています

# 江尻宿 巴川の河運と清水湊の海運で賑わった宿場

江尻宿／家数1340軒  
 (本陣2軒、脇本陣3軒、旅籠50軒)  
 人口6498人  
 出典：1843年東海道宿村大概帳

- 旧東海道
- 情報拠点
- 見どころ
- 食べ処
- 買い物
- 案内板・説明板・マップ
- バス停
- 駐車場
- トイレ
- コンビニ



参勤交代の大名たちは静岡市葵区伝馬町華陽院から久能山東照宮を参拝し、この道を通って東海道に戻りました

次郎長をはじめ大政、小政などの墓や資料館があります

駿府城主となった徳川頼宣公が父家康公のために建てた御殿の跡

武田信玄が築城した水軍基地袋城の跡といわれています

甲州のコメは清水湊から江戸に運ばれていました。当時は、ここに甲州の蔵がありました。今でも山梨の県有地です

川の湊を海の湊に移すことを廻船問屋に説得したのは清水の次郎長です。1875年に建造された波止場の痕跡が残っています

三保神社への参拝航路でした。現在は水上バスがでています

「安倍川餅、うさぎ餅、追分羊かん」は駿河三大名物

日本初の少年サッカーチームが創立され、小学生リーグが始まった清水。サッカーを愛する人にご利益あり

武田信玄が建てた江尻城址

浄瑠璃歌舞伎の演目である朝顔日記。数奇な運命をたどる「深雪」のモデルとなった女性の墓があります

1時間に平日は2本、土日祝日は4本のエスパルスドリームプラザ行きシャトルバスが出ています

かつての東海道には松並木が続いていました。所々に松が残っています

